

東日本大震災において、多くの方がお亡くなりになられたことに対しお悔やみ申し上げますとともに、被災されたみなさんに心からお見舞いを申し上げます。

京都府教育委員会では、府立学校教員やスクールカウンセラー等による「教育活動支援チーム」を被災地へ派遣し、教育活動再開に向けて地元教員と連携した支援、被災した子どもたちへの心のケアなどに取り組んでいます。

今後も関係機関と一丸となって全力を挙げて支援に取り組んでいきますので、みなさんのご理解とご協力をお願いします。

シリーズ 文化財 木造阿弥陀如来立像

(平成22年度京都府指定文化財)

像内に文暦二年二月卅日、願主僧行範、泉州別当定慶等の銘がある 1 躯

本像は、八幡市美濃山の宝寿院に伝わる阿弥陀如来立像です。口元を引き締めた表情や、整った衣文(えもん)表現など、鎌倉時代初期に快慶が確立した様式を受け継いでいます。体内に銘文があり、文暦2年(1235)泉州別当定慶によって制作されたことがわかります。制作年代や作者の判明する鎌倉時代の貴重な作例です。



八幡市 宝寿院所蔵 (山城郷土資料館寄託)

シリーズ 人権 人権を大切にしたコミュニケーションの輪を広げよう!

人と人が豊かにつながるためには、相手を尊重しながら自分の意見を伝え、相手の思いを聞き取り理解し、更に自分の意見を伝えるという力が大切です。

亀岡市立詳徳小学校では、文部科学省の指定を受け、PTAに人権学習の授業公開を行い、学校・家庭・地域が一体となって児童のコミュニケーション能力の育成を図るなど、人権教育の実践的な研究を進めています。

身近な生活の場で、人権を尊重したコミュニケーションの輪を広げましょう。



亀岡市立詳徳小学校の人権学習風景

きょういく きた みなみ

やましろ地域教育振興事業「読書大好き! アクションプラン」

『読書で開く心の扉』

山城教育局

山城教育局では、「ことばの力」を豊かにはぐくみ、読書が大好きな子どもを育てる取組の一環として、8月を「やましろファミリー読書月間」と位置づけ「ファミリーしおり(菜)コンクール」や「家族で読書!20分」を実施しています。応募数は年を追う毎に増え(平成22年度しおり応募数4,340点)、家庭での読書の輪が広がってきています。11月開催の「やましろ未来っ子読書大好き!フェスタ」では、子どもたちの伝えたい想いがあふれる朗読発表により、読書への興味が高まっています。



やましろ未来っ子読書大好き!フェスタ



平成22年度ファミリーしおり(菜)コンクール入賞作品から

『つないでシート』3部作の完成!

中丹教育局

中丹教育局の「プロジェクト21会議」では、小・中・高校12年間を見通した外国語教育の充実を目指し、どの子どもも楽しく英語が学べる指導のポイントを「つないでシートI・II・III」の3部作としてまとめました。小中連携や中高連携の視点から、それぞれの発達段階で身に付けさせたい内容を中心に構成しています。授業で活用した学校からは、「小学校から中学校への橋渡しとして効果的です」「英文を楽しんで読むようになりました」などの感想をいただきました。ぜひ一度、ホームページをご覧ください。



中丹教育局ホームページ <http://www.kyoto-be.ne.jp/tyuutan-k/>

高校生の修学を応援しています

京都府では平成22年4月から府立高校の授業料を徴収しないこととしています。また、勉学意欲がありながら経済的な理由により修学を断念することがないよう、高校生等修学支援事業(貸与)を実施しています。詳しい内容は高校教育課のホームページ(<http://www.kyoto-be.ne.jp/koukyou/>)をご覧ください。

— 高校生等修学資金貸与事業の申込みは、以下のとおりです —

● 高等学校等修学資金(修学金・修学支度金)貸与制度

対象:高等学校などに在学の方又はその保護者
※保護者などが府内に在住していること、世帯又は保護者の所得基準などの要件があります。
受付:随時(申請日の翌月からの貸与)
ただし、平成23年度新入生で、4月分からの貸与希望者は5月15日まで(既に貸与予定決定を受けている方は4月30日まで)

● 修学支援特別融資利子補給制度

対象:高等学校などに在学の方又はその保護者
※保護者などが府内に在住していること、世帯又は保護者の所得基準などの要件があります。
受付:5月15日まで(定員あり)

問い合わせ先 在学の高等学校又は府教育庁指導部高校教育課奨学担当
TEL. 075-414-5856・5154

ご相談ください

京都府教育委員会では、子どもの心身の成長や発達、いじめ、不登校、また保護者の方の子育てやしつけなどの悩みについて、電話、来所、巡回及びメールによる教育相談を行っています。

電話教育相談 ふれあいすこやかテレフォン(24時間受付)

京都府総合教育センター ■ 075-612-3268 または 3301
■ 0773-43-0390

来所・巡回教育相談

■ 月～金(祝日を除く)上記の電話でお申し込みください。
臨床心理士又は精神科医等が直接会ってお話をうかがいます。

メール教育相談

■ メールアドレス sukoyaka@kyoto-be.ne.jp
携帯電話の場合、受信拒否設定を解除してください。

ネットいじめ通報サイト

ネット上でいじめを発見されたら通報してください。
■ パソコンからは <http://www.kyoto-be.ne.jp/gakkyou/netijime.htm>
■ 携帯電話からは <http://www.kyoto-be.ne.jp/gakkyou/knetijime.htm>



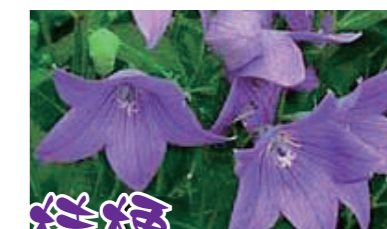
宇治支援学校が開校しました!

宇治支援学校は、宇治市・城陽市を校区とする障害のある子どもたちが、地域で学び、暮らし、そして働けることを目指して、宇治の市街地に開校しました。府の特別支援教育を推進する拠点として、府内全域の教育相談、教員研修、研究などを進めるために「京都府スーパーサポートセンター」を設けています。

また、源氏物語ゆかりの花々や木々を校内に植樹して、地域のみなさんとの交流の場となる環境づくりを計画し、平成

22年度「みどり香るまちづくり」企画コンテストにおいて最も高い評価を得て、環境大臣賞を受賞しました。

「第4帖 夕顔」

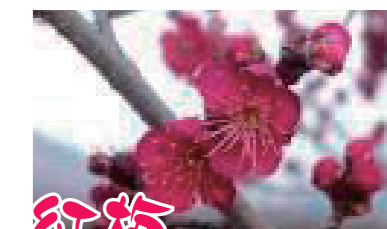


「第7帖 紅葉賀」



「第8帖 花宴」

「第6帖 末摘花」



「第8帖 花宴」



宇治支援学校周辺に植栽する源氏物語由来の花木・樹木の一部

府教委 広報

きょうとふの教育

主な内容

●平成23年度当初予算

第118号 平成23年4月 発行 ●京都府教育委員会 編集 ●京都府教育庁管理部総務企画課 電話(075)-414-5710 URL <http://www.kyoto-be.ne.jp>

親のための応援塾

もうすぐ1年生

みなさんの 会社の広告を 載せてみませんか

広告の募集について

京都府教育委員会では、教育の充実の経費に活用するため、広告事業を行っています。

府教委広報「きょうとふの教育」年3回(4月、10月、2月)発行予定。毎回約17万部発行。
広告の規格 ●縦60mm×横120mm ●フルカラー ●最終面記事下に掲載

問い合わせ先 京都府教育庁総務企画課企画広報担当
TEL. 075-414-5710

平成23年度当初予算概要

予算総額 1,956億3,951万円

1 京都の未来を創造する人づくりに向けた教育の推進

1 質の高い学力をはぐくむ

●子どものための京都式少人数教育推進費 (80億6,953万円)【拡充】

義務教育9年間をとおして子どもたちへのきめ細かな指導を行い、確かな学力を身に付けられるよう教員配置を充実します。
今年度から中学校へ拡充し、35人を超える学級規模の解消、または習熟度別授業の充実を図ります。

●京都式専科教育推進事業【新規】

府内の小学校5・6年生の音楽、図画工作等の授業で中学校等の教員による専門的な指導を行います。(試行)

●学力パワーアップ総合対策推進費 (3,950万円)

府内の中学校で、小学校段階の基礎基本を徹底する中1振り返り集中学習「ふりスタ」や、各種検定等に挑戦する「チャレンジ学習」を実施し、学習意欲の向上を図ります。

●学習習慣確立支援事業費 (6,598万円)

経験豊かな退職教員や社会福祉士等の専門家を「まなびアドバイザー」として府内の小・中学校に配置し、子どもたちの生活習慣の確立と学習習慣の定着を図ります。



子どもための
京都式少人数
教育

2 規範意識や人を思いやり尊重する心など、豊かな人間性をはぐくむ



茶道の授業

●高校生伝統文化事業費 (2,526万円)

京都府にゆかりの深い茶道や華道の授業を府立全ての高校で実施し、伝統文化への関心を高め、礼儀や作法等を重んじる心をはぐくみます。

●豊かな心を育てる教育推進事業費 (3,866万円)

地域の伝統・文化や仕事に関する体験活動をする「KYO発見仕事・文化体験活動推進事業」や、子どもの読書活動の推進などを通じて、子どもたちの豊かな人間性をはぐくみます。

3 たくましく健やかな身体をはぐくむ

●運動部活動振興事業費 (2,689万円)

地域のスポーツ指導者を中学校、高校へ派遣して運動部活動の指導を行い学校を支援します。

●食育推進事業費 (200万円)

食育の先進的な取組をしている学校の研究内容を府内に広げて食育の推進を図り、健康的な生活習慣を確立できるようにします。



食育の様子

4 一人一人を大切に、個性や能力を最大限に伸ばす

●特別支援教育サポート拠点事業費 (500万円)【新規】

宇治支援学校に「京都府スーパーサポートセンター」を設置し、関係機関と連携しながら、相談支援や教員研修などを行い、発達障害を含む障害のある子どもたちへの一貫した支援を行います。

●「もうすぐ1年生」体験入学推進費 (800万円)

新1年生が小学校に入学してからの生活をスムーズに送れるようにするため、複数回にわたる小学校体験入学の取組を進めます。

●就労支援事業費 (930万円)

販売学習「ふれあい心のステーション」の開催などとおして、特別支援学校の生徒の自立と社会参加を進めます。

●心のサポート推進事業費 (2億7,906万円)

スクールカウンセラーの配置、総合教育センターでの教育相談など相談体制の充実や、心の居場所サポーターの配置、問題を抱える子どもの自立支援等、不登校対策の充実を進めます。

5 社会の変化に対応し、よりよい社会の構築に貢献できる力をはぐくむ

●大学の先生に学ぼう体験事業費 (700万円)

子どもたちの学習意欲を高めるため、科学などに興味・関心を持つような体験授業や教員研修を京都大学と連携して進めます。

●府立高校「教育改革チャレンジプラン」支援事業費 (8,379万円)

生徒一人一人の「確かな学力」の向上と希望進路の実現に向けて、高校が主体的に企画し教育改革を推進する取組を支援します。

京都府教育委員会では、京都府の未来を創造する人づくりに向けた「京都府教育振興プラン」を着実に推進するための予算を計上しています。ここでは、今年度の予算を「京都府教育振興プラン」の2つの柱と10の重点目標にそって紹介します。

2 京都の力を活かして一人一人の学びを支える教育環境づくり

6 学校の教育力の向上を図る

●「教師力向上」地元パワー活用事業費 (1,200万円)

京都の大学や民間企業等と連携して、教科指導や学校運営に関する質の高い研修を行い、教員の人材育成を図ります。

●集まれ未来の教員サポート事業費 (300万円)

教員志望者を対象とした「教師力養成講座」や「教員養成サポートセミナー」の開催、「学生ボランティア」の支援を行います。

●土曜教育検討費 (100万円)【新規】

授業時数の確保や体験活動の充実など、様々な面から土曜日のあり方について検討します。

●生徒指導緊急指導教員の配置【新規】

暴力行為の多発等が生じている中学校に緊急的に教員を配置し、生徒一人一人に応じたきめ細かな指導や学習支援など生徒指導体制の充実を図ります。



教師力
養成講座

7 安心・安全で充実した教育の環境を整備する

●府立学校施設整備費 (40億1,435万円)

府立学校の校舎などの耐震補強工事や、学校の特色に応じた施設整備を行い、安心・安全で魅力ある学校づくりを進めます。

●高校生等修学支援事業費 (18億6,076万円)

学習意欲がありながら経済的な理由で修学を断念することがないよう、修学資金貸与や通学費補助等で修学を支援します。 ※裏面で詳しくお知らせしています。

8 すべての教育の出発点である家庭教育を支援する

●家庭教育支援事業費 (419万円)

小学校入学前の子どもを持つ保護者が、子育ての不安や悩みを先輩保護者との交流をとおして語り合い分かち合う「親のための応援塾」を開催するなど、家庭教育力の向上を目指す。

9 地域社会の力を活かして子どもをはぐくむ環境をつくる

●地域で支える学校教育推進事業費 (2,080万円)

中学校区を中心に「学校支援地域本部」を設置し、学習や部活動の支援をとおして、地域が学校を支える体制を整えます。

●京のまなび教室推進事業費 (5,464万円)

放課後や土曜日等に子どもの居場所として、学習活動やスポーツ・文化体験・異世代交流等の場の充実を図ります。



京のまなび教室

10 生涯学習社会の実現に向けて学習環境を充実させる

●府立高校サタデー広場活動事業費 (400万円)

府立高校を土曜日等に開放し、子どもの体験活動や府民向け生涯学習講座を行います。

●開放型地域スポーツクラブ推進事業費 (150万円)

地域の子どもから大人まで一体となって活動できる府立高校の施設を活用した地域スポーツクラブをつくり、生涯にわたってスポーツに親しめる環境の充実を図ります。

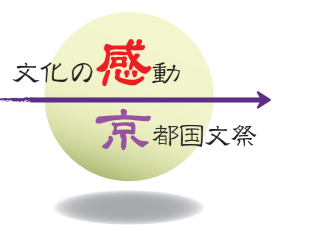
●文化財対策費 (24億2,146万円)

京都府内の貴重な文化財を適切に保存・活用するとともに修理現場の公開を実施するなど、歴史や文化を学ぶ取組を推進します。

京都の未来を創造する人づくりに向けて、新しい京都府の教育の基本理念や今後推進すべき施策の方向性を示した「京都府教育振興プラン」つながり、創る、京の知恵〜。
117号でもご紹介したこのプランを府民のみなさんに分かりやすく伝えるパンフレットを作成しました。
京都府教育委員会のホームページ (<http://www.kyoto-be.ne.jp>)からもご覧になれます。



日本最大の文化祭典
国民文化祭・京都2011
平成23年10月29日(土) - 11月6日(日)



国民文化祭とは？

全国各地で様々な文化活動に親しんでいる個人や団体が、日頃の成果や実力を披露するために全国から集まり、発表・交流する「日本最大の文化祭典」です。

京都府内全市町村で約70のフェスティバルを開催
みんなの力で成功させよう！詳しくはWebで 京都2011 検索